



校報

わきいち

和合協力

気力体力

意志強固

知識探求

創立 明治8(1875)年

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TLE 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

HP www2.namahage.ne.jp/~wakiichi

母なる学校を想い、語る日に。

校長 佐藤 和久

◆「僕等 一心に 羽ばたいて…大それた四重奏を 奏で終える日まで」(Alexandros・川上洋平)。数羽の幼鳥が校舎から巣立っていきました。校長室側の屋上角の隙間に営巣していたハクセキレイのつがいの子もたちです。孵化してからの親鳥は、特に自分の縄張りを主張するかのように何度もさえぎり、外敵に気づかれないように巣に近づいたり離れたりしながら餌を運びました。幼鳥が巢の外に姿を現し、巣立つ直前には、親鳥の警戒心も最高潮に達し、幼鳥の姿がよく見える数センチ離れた所から尾羽を震わせ、全身から振り絞るようにさえぎり続けていました。野鳥と言えども、未知なる外界に我が子が巣立つとなれば、その胸中にはいかに怖かったか。卒業式を終え、親元から離れた地に送り出す心模様に似ていたのでしょうか。

◆秋田魁新報(6/6~10付)に「特集 県内高校運動部 3年生一覧」として、約3千人の高校生の名前が掲載されました。高校3年生にとっては集大成の場となる全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の中止を受けて企画された地方紙の粋な計らいです。ある高校の主将は「やり切りました。悔いなし。」の言葉を綴り、他の主将たちのコメントからはこれまでの鍛錬、仲間との出会い、悔しさ、新たな目標への誓い、後輩に託す思い、支えられた人々への感謝の意とともに、そっと目頭を押さえる若人の姿も伝わって来るようでした。

◆皆様の中には、上記の特集記事を母校やご自身と関係の深い部活動の箇所から読み始めた方、または、知り合いや男鹿、脇本地区の高校生の名前はないかと眼を凝らして探した方もおられたのではないのでしょうか。その中には、本校を巣立った卒業生も数多くいたことでしょう。近くにいても



ハクセキレイの親鳥(左)と巣立った幼鳥(右) 撮影:佐藤

遠くにいても、小・中・高・専・大と校種を問わず、母校やふるさとの学校は気になるものです。慌ただしい日常の中で日頃忘れかけていても、その名前を見聞きした瞬間に敏感に反応してしまうのは私だけでしょうか。それが後輩たちの活躍の話題となれば、ことさら頬も緩みます。私自身の小・中学校の母校は既に統合校に受け継がれていますが、統合校の名前を見聞きした時も同様です。

◆7月15日。幾千人もの卒業生を送り出してきた本校の開校記念日です。いよいよ創立145周年を迎えます。また、今年は脇本第二小学校との統合から13年目にあたります。これからも地域とともにある学校として、子どもたちのがんばる姿を通して、地域を元気づけられる学校、地域の皆様から温かい眼差しを向けていただける学校でありたいと思います。

どうかこの開校記念日が、ご家族一緒に思い出のアルバムを開き、母校・脇一小のことに限らず、各々が過ごされた母校の様子を語り比べながら、その当時を懐かしんだり、現在の様子に目を向けたり、これからのふるさとの学校についてざっくばらんに語り合ったりする日でありますように。

学校沿革史から見た145年前の学校設立当時の様子

★脇本小学校(脇本第一小学校)の学校沿革史から

「明治八年七月十五日、創メテ脇本小学校ヲ脇本村ニ設ク。実ニ、當校ノ記念日ナリトス。此時、四等教員石井鉄之助赴任セサレ、当村加藤勘兵衛家屋ヲ以テ假リニ校舎ニ充ツ。当時就學生徒数六十名、職員ハ、石井教員を除クノ外、手傳船山佐太郎、西村傳蔵ノ二氏ナリ。是より先キ当地教育ノ有様ハ神主或ハ寺院ノ住職等ニ就テ簡易ナル讀書習字ヲ受ケシニ過キズ。故ニ当時小学校ヲ設ケシ教育スルノ時ニ至リシハ其父兄ニ於テ尊信措カズ。然レ…」(原本に句読点無し)

★樽澤小学校(脇本第二小学校)の学校沿革史から

「本校元山東小学校ト稱シ、明治八年七月十五日、樽澤村高橋常吉家宅ノ一部ヲ借り上げ設置セリ。當時學校ニ盡カシタルハ、戸長高橋甚之丞、樽澤村總代高橋甚六、浦田村總代三浦傳四郎、百川村總代板橋幾松ニシテ、即チ樽澤・浦田・百川三ヶ村ノ組合學校トス。…」

(*)

【出典】

★男鹿市史編纂委員会『男鹿市史 上巻』

第六編 近代の男鹿 第四章 教育と文化(1995.3.31)

初めての栽培！ バケツに稲苗植え

今年新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、残念ながら小山田さんの水田での田植え体験が中止となった5年生。JA秋田なまはげの職員様に来校していただき、農家の苗作りや田植え時の留意点の説明を聞きながら青バケツに稲苗を植え付けました。短時間でしたが、苗と泥の感触も味わいました。成長の観察を継続中です。こんな少ない本数でいいのかな？



加藤さんと一緒に！ ヘチマの棚づくり

今年もCS委員の加藤さんからヘチマの棚づくりに協力していただきました。今年も、4年生の子どもたちも加藤さんからの説明を聞きながら棚づくりの仕上げをしました。ヘチマのツルが元々よくこのように棚に仕掛けた網を麻ひもで支柱に結び付ける作業です。近々、理科室で種を発芽させて育てた若苗を学習園に移植する予定です。麻ひもがうまく結べないよ！



初めての眺め！ 屋上からの「東西南北」

普段、子どもだけでは上がることのできない校舎屋上で3年生社会科の地域観察の学習がありました。「東西南北に見えるものは？」をテーマに、方位磁針で確かめながら観察しました。東に出羽山地、太平山、西に学校裏の山、南に日本海、鳥海山、北に白神山地も臨めました。寒風山頂上からの観察も楽しみにしています。脇本や船越の町並みも見えますよ！



大きくなあれ！ 野菜づくり

2年生では、野菜の栽培に取り組んでいます。今年も、船越地区の若夫婦の農家さんに来校していただき、子どもたち自身がお金を支払って直接苗を買いました。ナスやミニトマト、キュウリなど数種類の夏野菜の中から好みのものを選びました。現在、鉢植えをして大切に育てています。夏休み前にも収穫がありそうですよ。何センチ伸びたかな？



初めての挑戦！ ミシンで直線縫い

6年生が、臨時休校でお預けとなっていたミシンを使っての家庭科の学習を進めています。直線縫いが基本ですが、普段使うことのないミシンです。曲がらないか、布をはみ出さないかと気になり、自然と肩にも力が入ります。「修行」を積んだ後のトートバッグづくりも完成間近です。さて、その仕上がりはどうなるのでしょうか。見られると余計に緊張するよ！



いかのおすし！ 防犯標語ファイルの寄贈

男鹿署員による防犯教室の後、1年生が男鹿ライオンズクラブ様と男鹿地区少年保護育成委員会様から防犯標語入りファイルをいただきました。ありがとうございました。いつも「いかのおすし」を忘れませんよ。

- ◎ (知らない人について) いかない
- ◎ (知らない人の車に) のらない
- ◎ おおごえでさけぶ
- ◎ すぐしらせる



「いかのおすし」を忘れないでね

コミュニティ・スクール事業

INFORMATION

夏休み前PTA授業参観

CS「語るべ！ in 脇一食堂①」

(第2回学校運営協議会の「熟議」)

★「zoom」で「オンライン会議」をしてみよう！

～体験して考える子どものネット利用とこれから～

- ・日時 令和2年7月20日(月) 16:00～17:00
- ・会場 脇本第一小学校 食堂
- ・連絡 ①事前の申し込みをお願いします。
②当日はマスクの着用と消毒へのご協力をお願いします。

今年度初めてのPTA授業参観です

- ・日時 令和2年7月8日(水) 13:45～15:20
- ・日程 ①授業参観 13:45～14:30
②学級懇談 14:40～15:20
- ・連絡 ①1・3年生では学級役員を選出します。
②当日はマスクの着用と消毒へのご協力をお願いします。
③当日は、「密」を避けながらの参観にご協力ください。



みんなで咲かそう 人権の花!

よりよい社会を築くことに必要な人権感覚(他人を思いやる心・生命や人権を尊重する心・正義や公正を重んじる心)を育む学校づくりを進めています。そのためには、学級をはじめ学校生活全体の中で自分の大切さとともに他の人の大切さが認められていることを子どもたち自身が実感できるような状況を生み出すことが大切だと考えています。今年度は、秋田地方法務局と秋田県人権擁護委員連合会と連携し、なかよし班で協力しながら「人権の花運動」を実施しています。(これまでの一人一鉢活動も継続中です)



なかよし班でのベゴニアの植栽の様子

子どもたちの五七五

♥脇一へエアコン付けてたのむから (5年 YHさん) これからが夏本番!

♥たのしみはアイスくわえてゲームして真夏の昼に熱くなる時 (6年 YYさん) どっちが「あつい」かな?

♥たのしみは記念に一枚ポーズして家族とともに写真とる時 (6年 SKさん) 決めポーズは何か?

♥たのしみはつくえにすわり戸を閉めて自分の世界で「鬼滅」読む時 (6年 SEさん) 大人気アニメ!

♥たのしみは炎鵬の出番待ちながら勝敗予想し相撲見る時 (6年 KMさん) 令和の牛若丸だぞ!



こんにちは! 男鹿市教育委員学校訪問

栗森貢教育長様をはじめ、5名の教育委員の皆様による学校訪問があり、9つの全学級の授業を参観していただきました。また、「学校再開後の様子を見てほっとした。今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組を継続しながら子ども一人一人と直接関わり、目標を失うことなく教育活動にあたってほしい。」との言葉をいただきました。



マスクを着用して学習中です!

7月の学校行事予定		
1日	水	学校安全日・各種点検日、クラブ活動④、4年校外学習(滝の頭浄水場など)
2日	木	内科検診(1~3年)
3日	金	6年校外学習(男鹿市役所、県立博物館)、東中学区校外生活指導連絡協議会①
6日	月	ALT学校訪問⑮
8日	水	PTA授業参観日(学級懇談会)
9日	木	1年ことばの検査、委員会活動④
10日	金	歯科検診(全校)
13日	月	ALT学校訪問⑯
14日	火	要請訪問(4年理科授業研)、全校4校時限
15日	水	開校記念日(創立145周年 / 児童休業日)
16日	木	委員会集会(担当:運営委員会)
20日	月	ALT学校訪問⑰、CS熟議①
21日	火	2年校外学習(なまはげ館、GAO)
23日	木	〈海の日〉
24日	金	〈スポーツの日〉
27日	月	ALT学校訪問⑱
28日	火	町内児童会②
31日	金	夏のわくわく集会
7/27~31		授業日。全校4校時限、給食あり。
8月の学校行事予定		
1日	土	夏季休業(~8/22まで)
3日	月	保護者面談(~8/6まで)
13日	木	学校閉庁(~8/15まで)
24日	月	授業開始日、夏のぐんぐん集会

お知らせ

◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、延期・中止となった主な行事等(追加分)は次の通りです。

〈延期となるもの〉

〔延期〕 創立145周年記念 運動会

- *9月17日(木)、午前中の開催予定(予備日…9月25日)
- *競技を厳選した縮小プログラムで

〈中止となるもの〉

- ・(PTA) 脇一っ子守り隊ボランティア協議会
- ・(1~6年) 男鹿潟上南秋児童生徒席書大会 全県児童生徒席書大会
- ・(5・6年) 男鹿市小学校陸上大会



★問い合わせ★ 男鹿市立脇本第一小学校

TEL 25-2215 FAX 22-2009 (教頭まで)

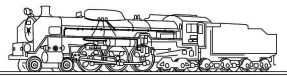
◆この紙面の情報は、6月23日現在のものです。今後、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点等から更なる変更がありますのでご承知おきください。

〈明治28(1895)年7月20日〉 補習三学年生徒引率。本日午前六時、南磯へ修学旅行トシテ出発。全日、門前菅原喜平治方一泊。翌廿一日午後四時一同帰校。(※1)原本に句読点は無し。以下同じ。

(註)補習…脇本尋常小学校補習科。高等小学校の前身。修業年限3ヵ年。

〈明治34(1901)年9月26日〉 大沼校長、生徒引率。修学旅行トシテ秋田市へ発程。(※1)

〈明治38(1905)年10月12日〉 児童四十九名引率。修学旅行ノ為メ、午前五時半出発。大久保驛ニテ汽車ニ乗り、十時半五城目着。一日市小學校參觀。十二時半、全驛出立。大久保小學校ニテ晝食。四時出発、八時無事帰校。(※1)



(註)五城目…奥羽本線五城目駅。その後、一日市駅、八郎潟駅と改称。

〈明治44(1911)年5月15日〉 當校児童修学旅行トシテ、秋田市方面ニ出發セリ。児童二十九人、教員三人、往復三日間。(※1)

〈明治45(1912)年5月18日〉 當校五学年以上有志ノ団体ニナレル修学旅行隊(男十四名、女十三名)ハ、小野、館岡両訓導引率。二泊ノ見込ヲ以テ山本郡能代方面ニ出發ス。(※1)

(註)有志…有志の形で27名。83.5%の不参加率となっている(※2)

〈大正6(1917)年5月5日〉 高等二学年、尋常六学年児童、秋田市方面ニ向ツテ午前六時三十二分、當驛發ニテ修学旅行ヲナシタリ。而シテ土崎製油所、南秋公園、畜産事務所、八橋公園、市役所、赤十字病院、千秋公園、兵營等ヲ觀覽シテ、午後六時五十分、秋田驛發帰校ノ途ニ就キ、午後八時十一分、豫定ノ目的ヲ達シ無事帰校シタリ。尚、引率者ハ、受持ノ小関、佐々木ノ両訓導ノ外ニ補助トシテ、太田訓導、小田嶋代用教員ヲ行カシメタリ。(※1)

(註)當驛…船川線脇本駅。旅行隊は、奥羽本線土崎駅で下車し、寺内、八橋、通町、千秋公園を通り、秋田駅前に向かったようだ。畜産事務所…南秋田郡寺内村大字八橋の秋田県産牛馬組合事務所。建設した種畜運動場が八橋競馬場(秋田競馬場)となる。現在のINEPX秋田鋳場、マルダイ、GUの周辺が競馬場跡地。衛星写真からは、その跡地の輪郭がよく分かる。(※3)(※4)八橋公園…日吉八幡神社周辺が公園であった。大正初期、熊が飼育されていた。現在の秋田市八橋運動公園の隣り。(※3)赤十字病院…久保田城跡にあった。城跡周辺には秋田市役所など。兵營…帝国陸軍歩兵第17連隊の兵營。現在の秋田ビューホテル、西武、市民市場の周辺から南通りにかけての敷地。(※3)

〈昭和16(1941)年9月下旬頃〉 「脇本村立脇本第一国民学校高等科二学年の時、朝早くに脇本駅から汽車に乗り、追分駅と東能代駅(当時、機織駅)で汽車を乗り継ぎ、青森県深浦・鱒ヶ沢方面に出かけ、その日の夜遅くに帰ってきた。服装は、学生服に運動靴であった。現地では皆と、中生種のりんご(紅玉)もぎをしたことが一番の思い出だ。酸っぱかったが美味しい味であった。」

(K Sさん(93歳・学校通り町内会)の談。2020.6.18、電話取材)

〈昭和31(1956)年〉 「この年から六年修学旅行、一泊二日となる(十和田湖へ)」 (創立百周年記念誌から)

(註)昭和31年…教職員数18名。児童数823名。この2年前に男鹿市立脇本第一学校に改称。

◆わたしたちの学校は
令和2年7月15日に創立145周年を迎えます

《特集 故きを温ねて新しきを知る》

明治から大正、昭和の修学旅行
男鹿、南秋、秋田、能代山本…県外へ

修学旅行の始まりは明確ではありませんが、学校沿革史では、明治28(1895)年に記録があります。

明治38(1905)年からは、徒歩と汽車利用の記録があります。現在の男鹿線脇本駅開通の大正3(1914)年までは、遠い最寄りの駅までは徒歩でした。参加児童にはかなりの体力が必要であったことも想像できます。他校修学旅行隊の脇本尋常小学校への立寄り・參觀の記録もあります。大正6(1917)年には見学先が多数記録されています。秋田市内の西洋式建築物(※3)には驚いたことでしょう。

現在の修学旅行のように対象学年全員の参加があったわけではありません。「宿泊費や交通費の負担がかなり重いこと」が考えられます(※2)。

昭和40年代には、仙台・松島方面への一泊二日の修学旅行になりました。東日本大震災直後は、仙台・平泉・花巻方面。その後、松島方面の年もありましたが、ここ数年は、防災教育として震災遺構の視察も組み込んだ仙台(名取を含む年も)・平泉方面となっています。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、6月から11月に実施が延期されています。(※学年齢について、明治40年代以降の高等科2年は、現在の中学校2年に相当します)

【出典・参照文献】

- ※1 『脇本小学校 学校沿革史』
- ※2 男鹿市史編纂委員会『男鹿市史 上巻』(1995.3.31)
- ※3 齋藤壽胤監修 伊藤武美[ほか]編『目で見える秋田・男鹿・南秋の100年』(郷土出版社、2002.2.)
- ※4 フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

◆ご家族、地域の皆様、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、健康に知らないうちに、拡めちゃうから。は十分留意なされ、どうぞご自愛ください。

